

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	保育所等訪問支援ダカーボ		
○保護者評価実施期間	2026年2月9日		～ 2026年3月12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	2026年2月9日		～ 2026年3月12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	2026年2月9日		～ 2026年3月12日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 26
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	【 子ども本人に対する支援 】児童入所支援・児童発達支援等のキャリアを積んだ職員による訪問支援は、訪問先施設における生活の流れの中で集団生活への適応や日常生活動作の支援などを実施することができており、保護者評価より「子どもへの理解・特性に応じた専門性のある支援」「子どものニーズ・課題の分析」に高い評価を得ている。	【 丁寧なアセスメントと行動観察 】家族からの生育歴・障害等の詳細にわたるアセスメントの面談を実施し、訪問時には、子どもの発達段階や障害特性を踏まえながら、職員・他児との関わり状況や集団活動への参加の様子等、丁寧に観察を行い、発達の過程を捉え、何が課題となっているのか、どのような支援が適切なかを検討している。	【 関係機関との連携 】子ども本人を支援の輪の中心として考え、訪問先施設をはじめとした様々な関係者が関与して行われる必要がある。市町村・保育所・学校・児童発達支援・放課後等デイサービス・医療機関等と日頃から連携を図る必要があり、今後はこれらの関係機関との連携を視野に入れた支援を検討する。
2	【 訪問先施設職員に対する支援 】訪問先施設からの事業所評価の結果は、助言や説明は具体的でわかりやすく、支援に対する知識・技術等に満足しているものの課題や困りごとが解消・軽減にはいたっていないといった評価を得ている。来年度は、この改善に向けて検討したい。	【 訪問先施設との相互理解の構築 】訪問先職員に対し、子どもとの関わりの中で把握した子どもの強みや、子どもの全体像の捉え方等を訪問先に伝えると共に、子どものニーズや今後の支援の進め方を共有する機会をもつようしている。子ども本人の発達の状況や障害特性、支援内容等の情報共有をする時間を大切にしている。	【 保育所等訪問支援計画作成にあたっての連携 】保育所等訪問支援計画の立案の際に、個別支援会議において訪問先施設から個別の指導計画・教育支援計画等の提示を求めることを徹底していなかった。今後は保護者の同意を得た上で、訪問先にこれらの計画の提示をもとめ、子どもの全体像を捉え、将来に向けての支援も含めて検討する。
3	【 保護者に対する支援 】訪問先施設における子どもの様子や、訪問先施設の職員の子どもへの関わり方などを含め、提供した保育所等訪問支援の内容を伝えること、家庭生活で活かせるような内容についても丁寧に伝えている。今回の評価においても保護者への説明等では、高評価を得ている。	【 保護者との信頼関係の構築 】今回の評価では全員の保護者が「事業所の職員から共感的に支援をされている」と回答している。保護者にこの共感が得られなければ、子ども本人への支援は始まらない。児童入所・児童発達支援等のキャリアを積んだ職員により、子育てに関する悩み相談・助言等を実施することができている。	【 家族に向けての研修会の開催・情報提供 】保護者に対する支援としては個別には充足できているとの評価があるものの「家族のウェルビーイングの向上」と「エンパワメントを前提とした支援」のための「研修会」等は開催していない。今後は家族支援プログラム等の検討を図り、ペアレント・トレーニング等研修会の情報提供も検討する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	【 非常時等の対応 】保護者からの評価において、定期的に通信やHP/SNS等で活動概要や連絡体制等の情報の発信や「自己評価の開示」「緊急時の対応を訪問先と連携」「子どもの安全を確保するための計画」等が「わからない」と回答されている保護者が3割以上になっている。これが事業所の弱みだと思われる。	【 周知の不徹底 】事業所としては、保育所等訪問支援に対する考え方は「適切な支援の提供」「保護者への説明等」のことも、訪問先施設への支援、保護者への説明が重要であり、その他の取り組みに対する情報を開示することは念頭に置かれていなかった。	【 保護者周知の方法の検討 】評価については3月末までにHPにて公表し、他「緊急時の対応」「子どもの安全を確保するための計画」も今後どのように周知していくのか、の検討をする。「業務継続計画」「感染症対応マニュアル」に関しても、保護者への情報提供を実施し、平時より緊急時への対応をシミュレーションする必要がある。
2			
3			

公表 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 保育所等訪問支援ダカーポ

公表日 2026年 3月 31日

配布数 30

回収数 24

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	8	2	0	14	・利用する、希望する子どもの数に対して職員の人数が少なく、業務の負担が多いように感じる。	
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	24	0	0	0		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	24	0	0	0		
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	22	1	0	1		
	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	21	1	0	2		
適切 な 支 援 の 提 供	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	24	0	0	0	・いつも助かっています。計画を開始してから約1年間、周りの方もわかる位改善してきています。引き続きよろしくお願ひします。 ・専門的な知識と経験のある職員が適切に支援・助言をして下さっていると感じています。適確でわかりやすく大変満足しています。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思えますか。	24	0	0	0		
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。	21	1	0	2		
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	18	1	0	5		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。	23	0	0	1		
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。	24	0	0	0		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24	0	0	0	・保育所等訪問支援の存在やどんなことをしてもらえるのか、支援級でなくても利用できること等の支援の範囲などを今まで全く知らなかった。ご縁があって支援していただくことになったが、もっと早く知り、利用したかったと思う。周囲の人たちにも知ってもらいたい。ポーターラインの子ども達が増え、進学先について悩んでいる人達が多いので、選択肢のひとつにあることをいろいろな方法で周知していただきたい。利用して良かったと思っている。ありがとうございます。 ・電話連絡をいただけるのはありがたいのですが、17時過ぎのことが多く、食事の準備や入浴等と重なり、対応できないことがほとんど。できれば、夕方前に電話してほしい。 ・紙面だけでなく、面談などで子どもの様子を話せる場があるのもとても良いと思う。 ・普段学校の様子はわからない。気になっていることを先生には伝えづらいところがあるので、状況を確認して改善案や先生とも共有してもらえると、とても助かっています。 ・昨年友達とのトラブルがあり、その件を伝えると早急に学校担任との場を設けていただき、親の不安や今後の対応など、迅速に解決することができました。学校で何かあった時に、頼れる支援があることは、障害児がいる家族にとっては、とても重要な存在だと思ふ。 ・保育所等訪問支援を開始してから子供の言葉にできない部分を知ることができ、親としては助かっている。人の話を聞く大切さを教えてもらった。話を聞いて関わる人たちでどう支援していくかを考えて、本人の成長につながっている。これからも多くのことを教えてほしい。 ・訪問時の様子は、詳細に報告されており、内容もわかりやすく助かっています。訪問後気が付いた点や家庭でどうするべきかなどアドバイスをいただくと助かります。	・項目14において「わからない」の数値が高い家族支援プログラム（ペアレントトレーニング）や研修会、情報提供の機会は今後は児童発達支援センターすきっぷとも連携し、今後検討を進めていきたい。
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24	0				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	1	5	10		
	15 必要などきにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思えますか。	24	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	2	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。	23	1	0	0		
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	0	0	3		
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。	23	1	0	0		
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思えますか。	22	0	0	2		
	21 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思えますか。	23	0	0	1		

	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	23	1	0	0	
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	1	1	7	<ul style="list-style-type: none"> ・非常時等の対応については、個人情報の取り扱いを除き、「わからない」との回答が多くなっている。 ・緊急時の対応については、BCPの作成・職員研修等も含めて、周知できるように準備する。 ・今年度は毎月「ダカーボ通信」を作成・配布し、防災訓練・意思決定支援・自己評価の結果を掲載していたが、来年度は「ダカーボ通信」がより多くの方に周知していただけるように働きかける。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22	0	0	2	
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	14	0	0	10	
	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	1	0	5	
満足度	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	21	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・心強いです。適確に情報をいただいて、現状がわかりやすい。いつもありがとうございます。 ・いつも本当にありがとうございます。親や学校の先生ではない視点からアドバイスいただけることは心強いです。すぐにチャレンジできなくても今後のことを考えるきっかけになります。心から感謝しています。
	28	事業所の支援に満足していますか。	23	1	0	0	

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日			2026年 3月 31日	
保育所等訪問支援タカーボ		配布数			27 回収数 26	
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	24	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなことを経験されてのアドバイスをさせていただいたので、わかりやすいです。 ・助言では、文面にてたくさんコメントを送って下さり、とても助かりました。細かい点の改善点や良い所など私自身学びとなりました。 ・その子に合った助言で今後の対応を検討することができた。 ・児童に対しての、見取った様子をわかりやすく説明して下さって助かりました。 ・これまでの児童の様子と比較しながら説明して下さるので、成長を感じやすいです。 ・継続的に行われなければならないことばかりだったので、結果がすぐには出ませんでした。参考になりました。 ・継続して来園して下さることで対象児の育ちや今の困り感など、新たな読み取りや捉え方を教えていただき、とても良かったです。 ・とても具体的にわかりやすかった。特に「どのタイミングでどのように声かけしたらよいか」といった直接的な指導・助言をいただけたので、授業内で活用できた。 		
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	25	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・支援に対する考え方や技術を見習わせていただくことが多くあります。参考になります。 ・専門的な視点でご助言いただけるのでとてもありがたいです。 ・第三者の目線で伝えていただきました。 ・専門的な目で見て下さって良かったです。 ・定期的な児童観察のフィードバックはいつも丁寧に見ていただいてありがたいと思っています。 ・保護者への具体的な伝え方、より専門的な支援の仕方など、相談しやすかったです。 ・質問した際に回答していただけたので、良かったです。 ・教員とは異なる専門的な視点から児童を見ていただけるため、私たちだけでは気付かない多角的なアプローチ方法を教えていただき、大変参考になった。 		
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	23	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・その都度アドバイスしていただけるのはとても助かります。 ・とても適確な回答を下さっています。 ・寄り添って聞いていただきました。 ・学校での様子について質問されることの方が多い気がします。 ・とても親身になって答えて下さり、教えていただくことで次の目標へと繋げることができました。 ・進め方についてアドバイスをいただき、助かりました。 ・対象児を取り巻く環境や他児との関わりなど、今困っていることに対して教えていただきました。また、対象児以外の幼児への支援も相談できありがたかったです。 		
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	15	11	0	<ul style="list-style-type: none"> ・少しずつですが、支援を受けている子どもに変化が見られます。 ・とても軽減されました。 ・本人が少しずつ成長をしていったと思います。 ・対象児の家庭環境の変化から精神状態が不安定で課題解決には至らなかった。 ・児童が安心して過ごす姿が見られます。ありがとうございます。 ・まだ1年目なので何も言えないです。長い目でみていただけたらと思います。 ・個に対しての課題をしっかりと示してくれ、目標をもって取り組むことができました。 ・保護者の関わり方や気持ちに変化があったことが感じられ、担任ともより連携を図りやすくなったと思います。 ・今年度は保護者からの希望での訪問支援でしたので、特にありませんでした。 ・本人の課題は家庭の課題ともリンクしているためすぐには改善されませんが、チーム内で情報共有したり、役割分担して気持ちの面で案になったと感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「課題や困りごとが解消または軽減された」ことに対して、半数の訪問先が「どちらともいえない」と回答しており、これは課題や困りごとが継続しているということである。対象児童の年齢が高くなるほどこの課題・困り感の解消・軽減は困難になる傾向はあるが、今後も訪問先・家庭とコミュニケーションを図り、改善に向けて取り組んでいく。 	
5 事業所からの支援に満足していますか。	22	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・満足しております。 ・集団生活の中で幼児の困り感や課題などを見ていただける良い機会であると思いました。このような事業があることを、支援を必要とする家庭に情報が届くと良いと思います。 ・大変満足しています。 		
其他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> ・支援の対象児に対しての接し方に嫌味がなく、ずっと前から知っているかのようなやりとりをしている様子を見ると「さすがだな」と思います。子どもと本気で遊ぶことの大切さを再認識させていただきました。「遊びは学び」ですね。/・非常に助かりました。子ども・保護者の困り感にしっかり向き合い、手を取り合って考えることができて学びになりました。/・1年間ありがとうございました。学校生活も残り2週間ほどですが、たくさんサポートしていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。/・支援や配慮のお子さんに対して、どのような対応をしたら良いのかなどとても勉強になりました。一人ひとりのお子さんに対しての理解と共に、自分自身が気を付けて行くべき点にも振り返ることができてとても良かったです。今後も見て下さっている子ども達の成長を見守っていただけることを感謝しております。/・学校とは異なる立場の方が本人や保護者の相談ニーズに対応していただけて大変助かっています。保護者も本人も学校相手には言いにくいことなどもあると思うので、そういった不安感の受け皿になっていただくことは大変有意義なことだと思います。また、何かあった時に学校からも相談ができそうだという安心感にもなります。今後ともよろしく申し上げます。/・お忙しい中、ありがとうございます。/・1日見学していただいたことで、活動ごとの姿や一日通した様子の変化を見ていただけたと思います。/・継続して同じ職員の方に見ていただけるのは児童にとっても学校の教職員にとっても成長を感じ取りやすいと思うので、これからもよろしく申し上げます。/・毎時間丁寧に見て下さり、適切なご提案をいただき、ありがとうございます。/・初めての事でしたが、学ぶことも多く勉強になりました。1年間ありがとうございました。/・担任としての接し方や授業の仕方を教えていただきうれしかったです。書類に残していただけたのがとてもうれしかったです。ありがとうございます。/・いつも訪問していただき、ありがとうございます。訪問支援員の方が、私の取り組みをいつもほめていただき、また次もがんばろうという気持ちになります。ありがとうございます。/・訪問していただけてからこの評価票が届くまで時間が空いてしまったので、できれば、記憶が鮮明な時に書けると良いと思いました。/・学校や家庭と情報共有することができ、よりよい支援に繋がりました。/・また機会があれば、ぜひよろしく申し上げます。 					<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に訪問支援に関して受け入れる側の施設・学校が満足されていることがわかった。児童の「困り感」「課題」の解消や軽減を解決するための支援の方向性が、訪問先と保育所等訪問支援で統一される必要性がある。「どちらともいえない」に回答している数字は、この支援の方向性の統一に関して「納得できない」ような場合も想定される。今後は、訪問先施設が「納得して先にすすむことができること」を大切にすすめていくようにする。 	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		保育所等訪問支援ダカーボ					公表日	2026年 3月 31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点		
環 境 制 ・ 整 運 備 営 ・	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	3	0				
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	0				
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	3	0				
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けて おり、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	昨年度の評価を振り返り、改善点を今年度の事業計画に入れ、実施している。「ダカーボ (保育所等訪問支援) 通信」を保護者に書面をもって配信し、運営に関する様々な情報を提 供することに務めた。			
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	3	0				
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	0	3	現段階では第三者評価を実施していない。			
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	3	0	研修は毎月開催しており、権利擁護・虐待防止・意思決定支援等様々な研修に参加し、訪問 支援員の資質の向上を目的として研鑽している。			
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	3	0	導入時点でのアセスメントは大切であり、保護者の要望・意向だけに止まらず、こどもの ニーズがどこにあるのかの意思決定支援を行い、保育所等訪問支援計画を作成するようにし ている。			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0	保育所等訪問支援計画を立案する際には、児童発達支援管理責任者、訪問支援員が情報を共 有し、支援の方向性を定め、こどもの最善の利益「意思決定支援」を含めた検討が行われて いる。			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3	0	保育所等訪問支援計画を立案する際には、訪問先保育士・教諭等と連携し、保護者の意向を 伝えた上で、訪問先施設の意向を盛り込んでいる。			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	3	0				
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	3	0	標準化されたツールだけではなく、非常に大切になる行動観察を含むアセスメントを必ず実 施している。			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	3	0	こども本人に対する支援・訪問先施設の職員に対する支援・家族に対する支援の具体的な支 援内容を設定している。			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	3	0	毎月1回支援会議を開催し、保育所等訪問支援計画を職員間で共有し、計画の進捗状況をモ ニタリングを含め確認している。			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている か。	3	0				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	0				
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	3	0					
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	3	0					

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0	サービス担当者会議や関係機関との会議に、相談支援専門員・障害福祉サービス事業所担当者・訪問看護師等が参加する場合がある。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0	利用者の必要に応じて、市障害福祉課・市子ども家庭課・相談支援事業所・保健所・児童相談所・訪問看護師・訪問リハビリ・医師・教育委員会等の関係機関と連携し、支援を行う体制を整えている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3	0		
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	0		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0		
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	3	昨年度の改善点にも入れているが、家族に向けて、家族支援プログラム・研修に参加する機会の情報を提供していなかった。今後は、これらの研修の機会を提供し、家族の対応力の向上を図るようにする。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3	0		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3	0		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	3	児童入所支援・児童発達支援事業では、保護者会・保護者の活動への支援を実施しているが、保育所等訪問支援事業では、保護者間の連携を意図する機会の設定はなく、今後もこの予定はなし。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	0	2025年度の大きな改善点として、毎月「ダカーボ通信」を発行し、活動概要や様々な情報を提供した。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0		
訪問先施設への説明等	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0		
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3	0		
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3	0		
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3	0		

	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3	0		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	0	各種マニュアルは整備しており、発生を想定した職員の訓練は実施しており、家族に向けても周知している。今後も、これらのマニュアルを整備していること、訓練を実施していることを家族にも周知する予定である。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	0		